



CX-A5000/MX-A5000

接続例

ヤマハ株式会社

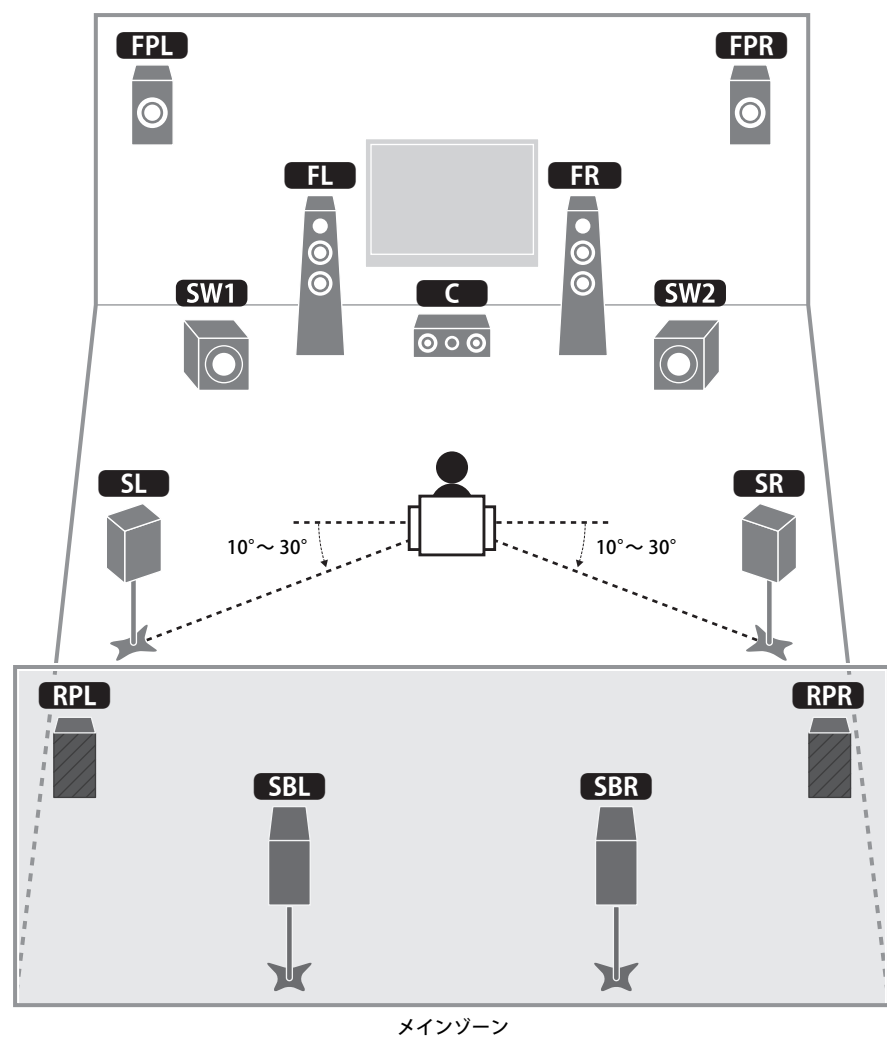
© 2013 Yamaha Corporation Printed in Malaysia ZH84150

「AV プリアンプ CX-A5000」と「パワーアンプ MX-A5000」を組み合わせることで、さまざまなホームシアターシステムを構築することができます。本書では、3種類の代表的な接続例を紹介します。

なお、各システムで使用するスピーカーは「理想的なスピーカー配置」(下図)を参考に配置してください。

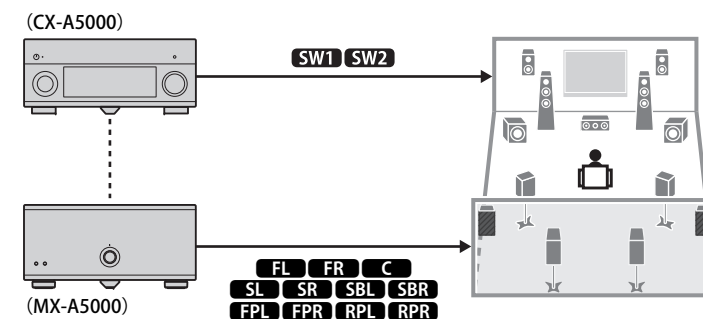
- 本書は接続例を示すものです。端子や設定について詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器を接続する前に、必ず各機器の電源プラグをコンセントから取り外してください。

理想的なスピーカー配置

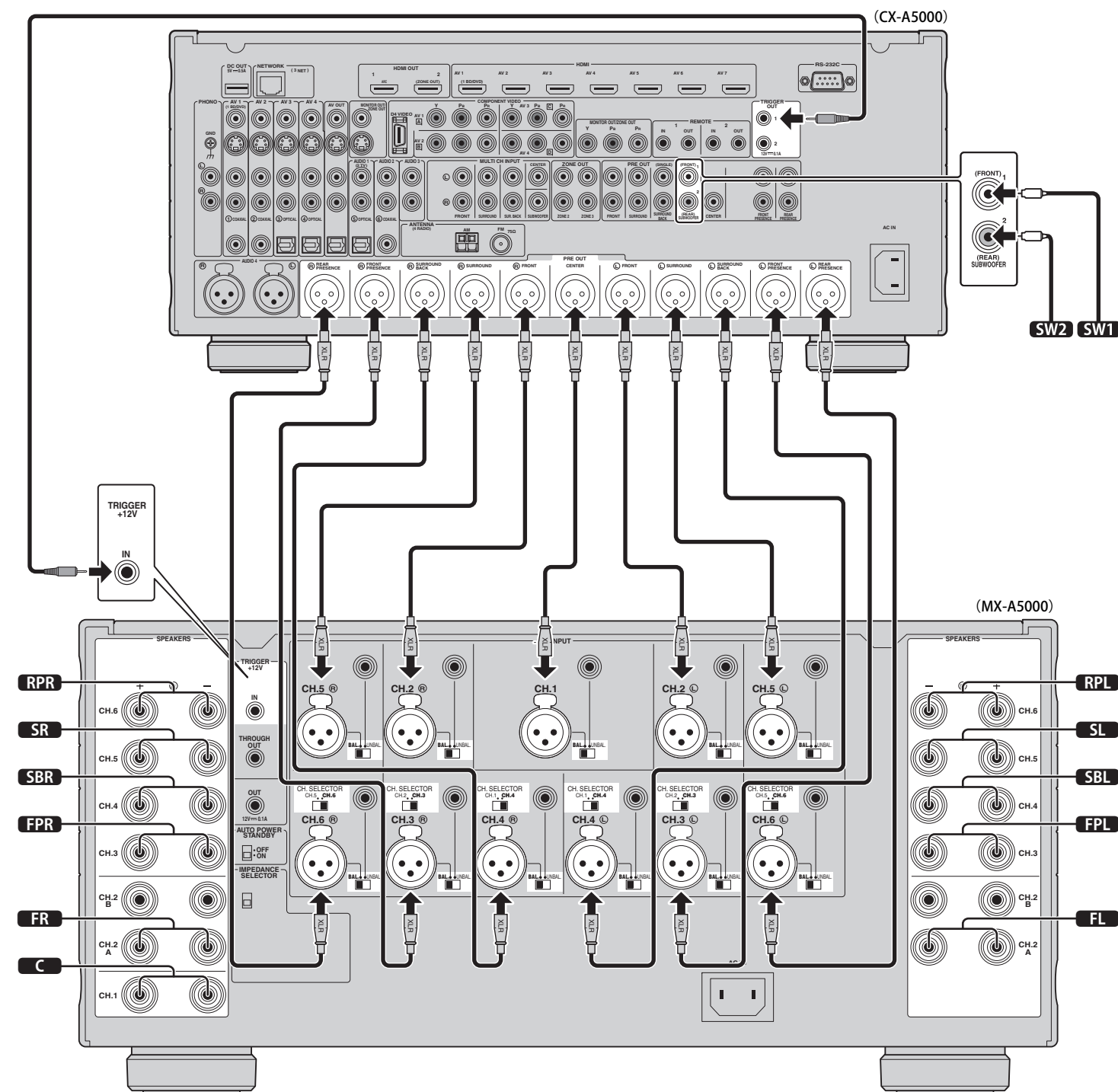


- | | | |
|---------------------|--------------------------|------------------------|
| FL フロント (左) | SBL サラウンドバック (左) | RPL リアプレゼンス (左) |
| FR フロント (右) | SBR サラウンドバック (右) | RPR リアプレゼンス (右) |
| C センター | FPL フロントプレゼンス (左) | SW1 サブウーファー (1) |
| SL サラウンド (左) | FPR フロントプレゼンス (右) | SW2 サブウーファー (2) |
| SR サラウンド (右) | | |

① 最大 11.2 チャンネルのホームシアターシステム

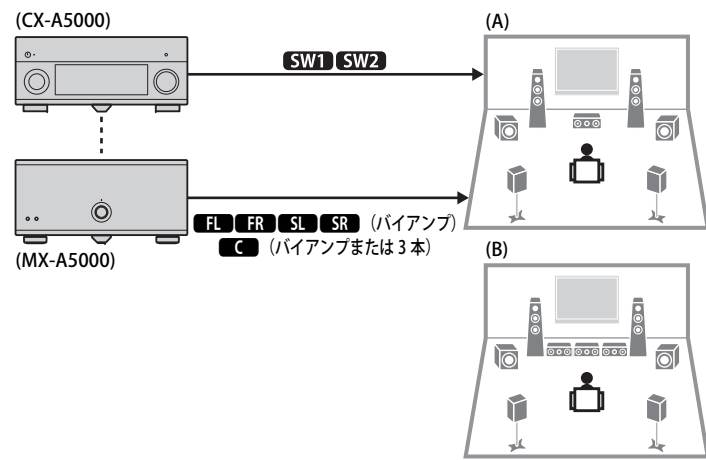


このシステムでは、シネマ DSP の最高峰 11.2 チャンネルで 3次元音場をお楽しみいただけます。



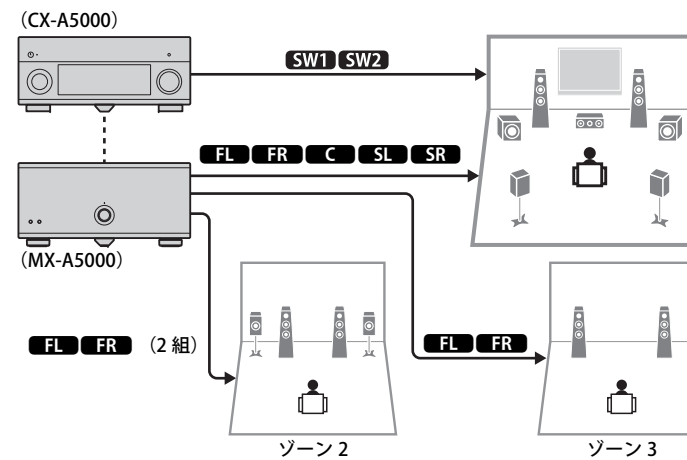
・MX-A5000 の BAL/UNBAL スイッチ (全チャンネル) および CH. SELECTOR (CH.3、CH.4、CH.6) を、上図にあわせて設定してください。

② 5チャンネルバイアンプ接続のホームシアター

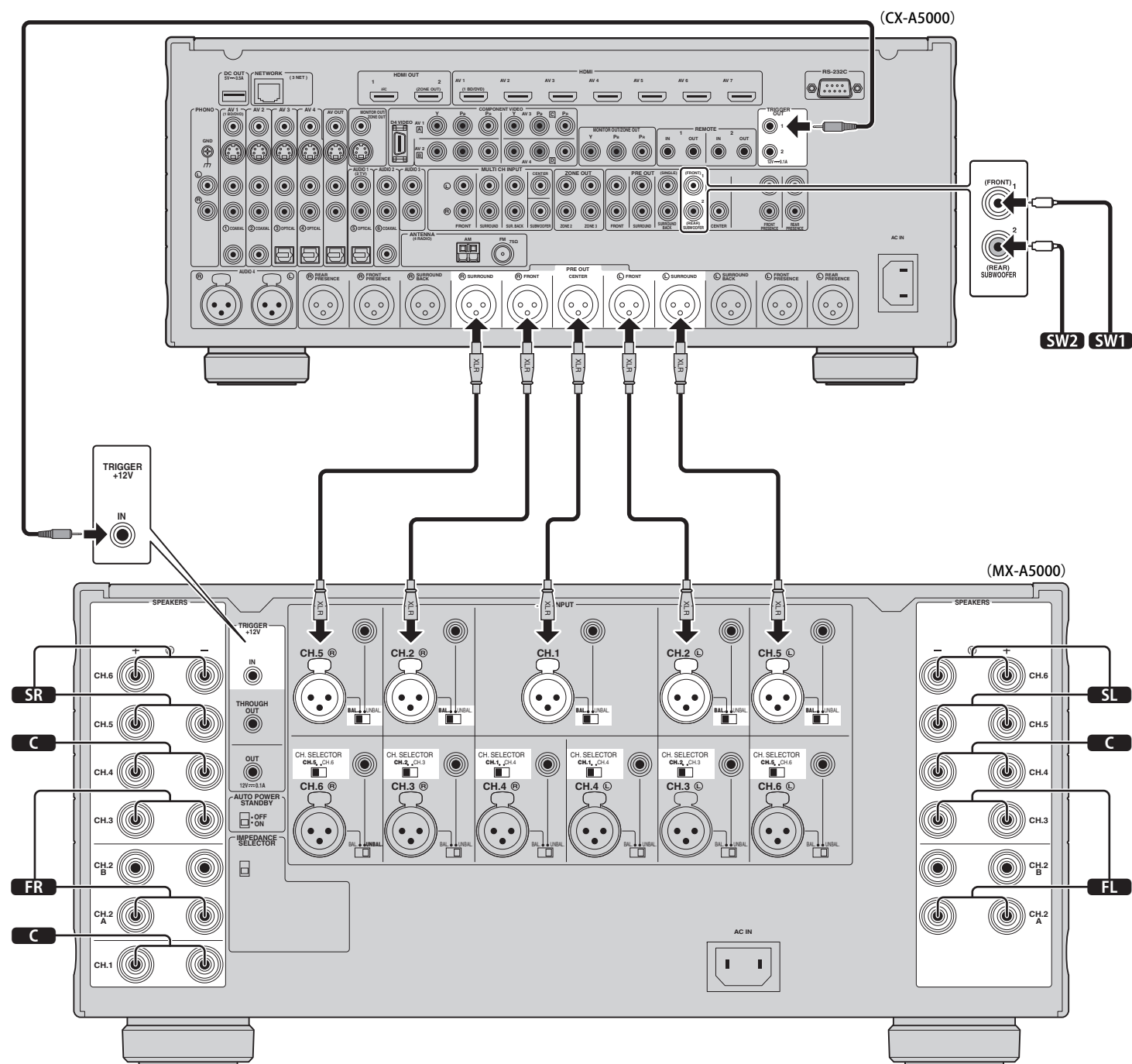


このシステムでは、バイアンプ接続で各スピーカー（5チャンネル）を接続して、さらに高音質な音声を 즐기いただけます（図A）。センタースピーカーは、バイアンプ接続の代わりに最大3本接続することもできます（図B）。

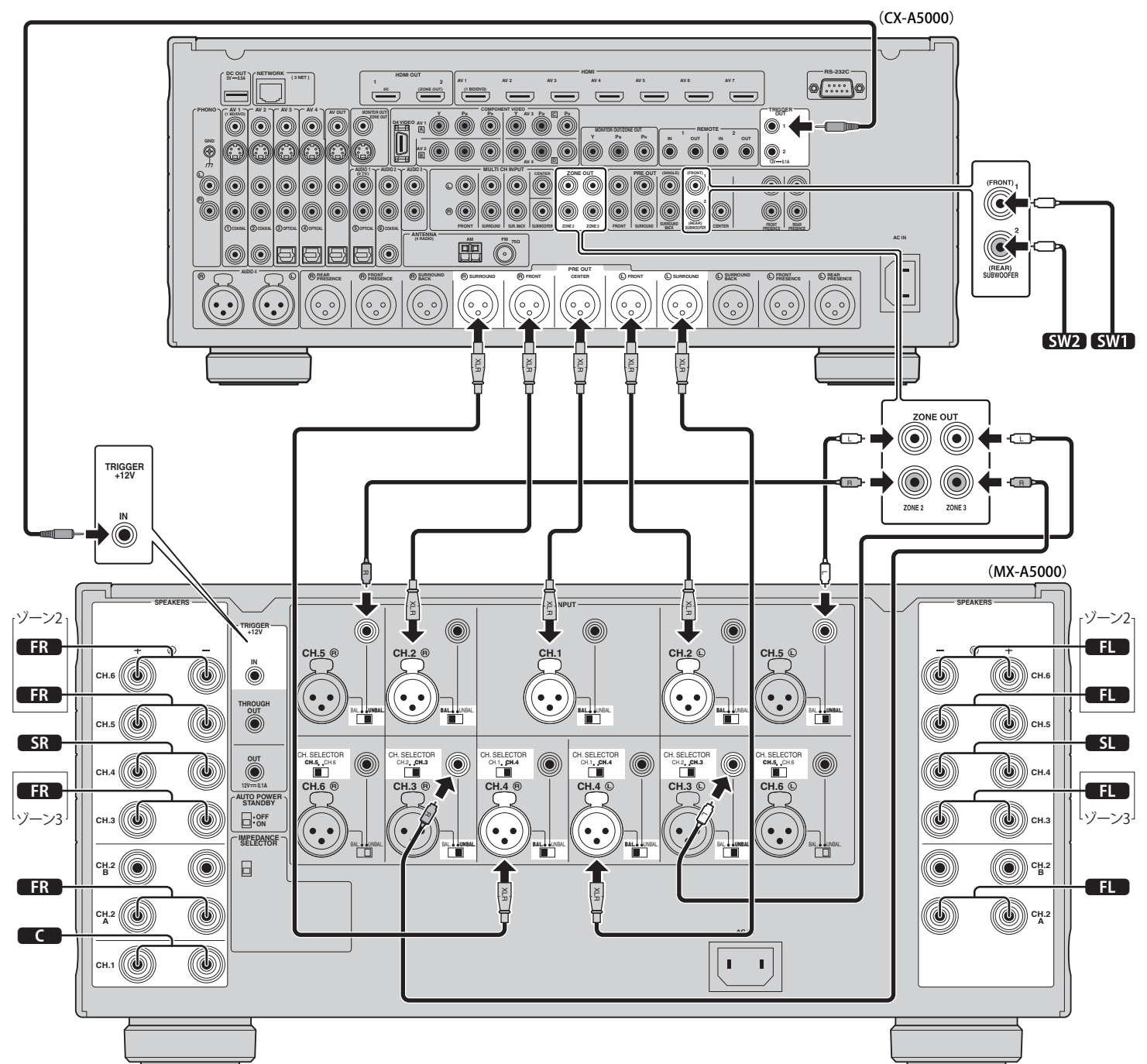
③ メインホームシアター（5チャンネル）＋2部屋（各2チャンネル）



このシステムでは、メインゾーンの5チャンネルサラウンドに加えて、別の2部屋（ゾーン2、ゾーン3）でステレオ音声を 즐기いただけます。必要に応じて、ゾーン2とゾーン3のいずれかで2組のフロントスピーカーを使うこともできます。



- ・MX-A5000のBAL/UNBALスイッチ（CH.1、CH.2、CH.5）およびCH. SELECTOR（CH.3、CH.4、CH.6）を、上図にあわせて設定してください。
- ・センタースピーカーをバイアンプ接続でつなぐ場合は、CH.1、CH.4（L）、CH.4（R）のうちいずれか2つのスピーカー端子に接続してください。
- ・複数のセンタースピーカーを接続する場合は、同じ種類のスピーカーを使用することをおすすめします。（CX-A5000のYPAO補正は全センタースピーカーの総合特性で判定されます。スピーカー個別の補正はできません。）



- ・MX-A5000のBAL/UNBALスイッチ（CH.6を除く全チャンネル）およびCH. SELECTOR（CH.3、CH.4、CH.6）を、上図にあわせて設定してください。
- ・必ずCX-A5000の「マルチゾーン設定」でゾーン2/ゾーン3出力の「音量」を「可変」（初期値）に設定してください。「固定」に設定した状態で再生すると、過大な音量によりパワーアンプやスピーカーが故障するおそれがあります。詳しくは、CX-A5000の取扱説明書をご覧ください。